

プラクティス・

練習で学ぶドイツ語

井口靖

グラマー

## はじめに

この教科書は見開き 2 ページでひとつのセクションとなり、 3 つのセクションでひとつの課となっています。各セクションは簡単な会話から始まりますが、ふつうの教科書とは異なり、左のページでまず練習が出てきます。これには必ず例がついていますから、その例を見て自分で文法の法則を見つけ出してください。もしわからなければ目をそのまま右のページに移すと、そこに対応した文法説明があります。それを読めば問題はきっと解けるはずで、問題が解けた人も必ず一度は説明を読んでください。先に問題をやることによって説明が理解しやすくなることと思います。

本文に収めきれなかった項目は「補足」として 3 か所にまとめました。必要な場合には先生の指示で参照してください。たとえ授業で扱わなくても自習できるようになっています。

このように実践で習得していった知識こそ本当の力となると信じています。そして、それを基礎にさらにドイツ語の世界を広げていただければうれしく思っています。

インターネットにアクセスできる方は下記のアドレスでこの教科書に関する補足やお知らせなどを見ることができます。また、そこから感想等を送っていただくこともできます。

<http://german.human.mie-u.ac.jp/~practice/index.html>

2003年 春

著 者

### 動詞の意味表示について

ドイツ語の動詞には正しい文になるための最低限必要な要素というものがあります。この教科書ではそれを示すために「…を見る」「…に…を与える」のような表示がしてあります (P6~7 の発音のページは除く)。「…を」はドイツ語では名詞の 4 格、「…に」はドイツ語では名詞の 3 格にあたります。もしそれが食い違う場合には「3格を助ける」のように書くことにします (名詞の格については **Lektion2** で学びます)。場合によっては「場所に住む」「方向へ行く」のような表示も出てきます。これらを覚えることによって本当の意味でドイツ語の動詞が使えるようになります。

## も く じ

アルファベット	5
アクセント	6
つづりと発音	6
1 現在人称変化と語順	8
2 名詞の性・格	14
3 不規則動詞の人称変化・命令文	20
4 名詞の複数形と数詞	26
5 定冠詞類と不定冠詞類	32
6 前置詞と人称代名詞	38
7 再帰動詞と分離動詞・非分離動詞	44
8 話法の助動詞と zu 不定詞	50
9 現在完了形と過去形	56
10 形容詞の格変化と比較変化	62
補足 1 形容詞の名詞化・名詞の形容詞変化 数詞 月と曜日	68
11 受動態と従属接続詞	70
補足 2 過去完了形 受動態の完了形 自動詞の受動態	76
12 接続法と関係代名詞	78
補足 3 接続法第 1 式 関係代名詞 (2 格・3 格・前置詞+関係代名詞) 不定関係代名詞・関係副詞 指示代名詞	84
〈付録〉 不規則動詞変化表	88

ドイツ語を話す国々



# ヨーロッパの国々



## アルファベット

A	a	<i>A a</i>	[a:]	Q	q	<i>Q q</i>	[ku:]
B	b	<i>B b</i>	[be:]	R	r	<i>R r</i>	[ɛr]
C	c	<i>C c</i>	[tse:]	S	s	<i>S s</i>	[ɛs]
D	d	<i>D d</i>	[de:]	T	t	<i>T t</i>	[te:]
E	e	<i>E e</i>	[e:]	U	u	<i>U u</i>	[u:]
F	f	<i>F f</i>	[ɛf]	V	v	<i>V v</i>	[fau]
G	g	<i>G g</i>	[ge:]	W	w	<i>W w</i>	[ve:]
H	h	<i>H h</i>	[ha:]	X	x	<i>X x</i>	[iks]
I	i	<i>I i</i>	[i:]	Y	y	<i>Y y</i>	[ˈɣpsilɔn]
J	j	<i>J j</i>	[jɔt]	Z	z	<i>Z z</i>	[tsɛt]
K	k	<i>K k</i>	[ka:]				
L	l	<i>L l</i>	[ɛl]	Ä	ä	<i>Ä ä</i>	[ɛ:]
M	m	<i>M m</i>	[ɛm]	Ö	ö	<i>Ö ö</i>	[ø:]
N	n	<i>N n</i>	[ɛn]	Ü	ü	<i>Ü ü</i>	[y:]
O	o	<i>O o</i>	[o:]				
P	p	<i>P p</i>	[pe:]	ß	<i>ß</i>		[ɛs-'tsɛt]

## アクセント

- 原則として語の最初の母音にあります。例：árbeiten 働く
- 外来語でアクセントの位置がずれるものがあります。  
例：Compúter コンピュータ interessánt 興味深い
- アクセントをもたない前つづり (be-, emp-, ent-, er-, ge-, ver-, zer- など) があります。  
例：beárbeiten 加工する erfínden 発明する gefállen 気に入る vergéssen 忘れる

## つづりと発音

ドイツ語は基本的にはつづり字通りに発音されます。  
ここではつづりとの関係から特に注意すべき発音を一覧にしてあります。

### 母音

ä	[ɛ]	Kälte	寒さ	[ɛ:]	Säge	のこぎり
ö	[œ]	können	…できる	[ø:]	hören	聞く
ü	[ʏ]	küssen	キスする	[y:]	üben	練習する
ie	[i:]	Liebe	愛			
aa	[a:]	Aal	うなぎ			
ee	[e:]	Tee	茶			
oo	[o:]	Boot	ボート			
ei	[ai]	Eimer	バケツ			
eu	[ɔʏ]	heute	今日			
äu	[ɔʏ]	Säule	円柱			



一文字の母音は長く発音される場合と短く発音される場合があります。  
基本的にはその母音の後ろに子音字が二つつづられている場合には短く発音され、母音の後ろ  
が子音字+母音字とつづられている場合には長く発音されます。

Bank 銀行 — baden 入浴する Ecke 隅 — eben 平らな  
Nummer 番号 — Nudel ノードル kommen 来る — komisch おかしな

ただし、その母音の後ろが子音字一つで終わっている場合はどちらとも言えません。

weg 離れて — Weg 道

原則に当てはまらないものもありますので、辞典で確認しながら覚えましょう。

## 子音

b	[b]	<u>B</u> ett	ベット	[p]	(語末や無声子音の前で)	<u>K</u> alb	子牛	<u>H</u> erbst	秋
ch	[ç]	<u>i</u> ch	私は	[x]	(a, o, u, au の後で)	<u>a</u> ch	ああ	<u>n</u> och	まだ
						<u>B</u> uch	本	<u>a</u> uch	…も
chs	[ks]	<u>F</u> uchs	キツネ						
d	[d]	<u>d</u> anken	感謝する	[t]	(語末で)	<u>H</u> und	犬		
dt	[t]	<u>S</u> tadt	町						
g	[g]	<u>G</u> ast	客	[k]	(語末や無声子音の前で)	<u>T</u> ag	日	<u>m</u> ittags	昼に
				[ç]	(語末の -ig で)	<u>l</u> edig	独身の		
h	[h]	<u>H</u> aus	家	[:]	(母音の後で)	<u>K</u> ahn	小舟		
j	[j]	<u>J</u> apan	日本						
ng	[ŋ]	<u>Z</u> unge	舌						
pf	[pf]	<u>A</u> pfel	リンゴ						
qu	[kw]	<u>Q</u> uelle	源						
r	[r/R]	<u>r</u> ot	赤い	[ʀ]	(語末で)	<u>B</u> är	クマ	<u>L</u> ehrer	先生
s	[s]	<u>E</u> is	氷	[z]	(母音の前で)	<u>s</u> agen	言う		
sch	[ʃ]	<u>s</u> chnell	速い						
ss	[s]	<u>F</u> luss	川						
ß	[s]	<u>F</u> uß	足						
sp	[sp]	<u>K</u> nospe	つぼみ	[ʃp]	(語頭で)	<u>s</u> pringen	跳ぶ		
st	[st]	<u>L</u> ust	気持ち	[ʃt]	(語頭で)	<u>S</u> tunde	時間		
ts	[ts]	<u>n</u> ichts	何も…ない						
tsch	[tʃ]	<u>D</u> eutsch	ドイツ語						
tz	[ts]	<u>K</u> atze	ネコ						
v	[f]	<u>V</u> ater	父	[v]	(外来語で)	<u>K</u> lavier	ピアノ		
w	[v]	<u>W</u> agen	車						
x	[ks]	<u>T</u> axi	タクシー						
z	[ts]	<u>g</u> anz	まったく						

## つづり方の注意

- ・名詞は文中でも大文字で書き始めます。 Hund イヌ Tisch 机
- ・ss と ß は同じ発音ですが、二重母音や長母音の後は ß が用いられ、その他の場合には ss が用いられます。

Fuß 足      Straße 通り      heißen …という名前である  
 Fluss 川      Hass 憎しみ

# 1

## 現在人称变化と語順

### Dialog 1

Sylvia : Hallo, Ichiro.

Wir gehen ins Café.

Wohin gehst du ?

Ichiro : Ich gehe nach Hause.



**Ü1** ▶ 例) Wir gehen nach Hause.

→ Ich gehe nach Hause.

- 1) Wir wohnen hier.
- 2) Wir lernen Chinesisch.
- 3) Wir kommen aus Deutschland.
- 4) Wir trinken gern Wein.

**Ü2** ▶ 例) Ich gehe nach Hause.

→ Gehst du nach Hause ?

- 1) Ich wohne in Hamburg.
- 2) Ich schwimme gern.
- 3) Ich lerne Französisch.
- 4) Ich höre jetzt Radio.

**Ü3** ▶ 例) Geht ihr nach Hause ? (wohin) → Wohin geht ihr ?

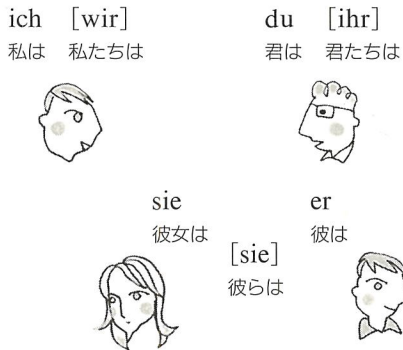
- 1) Wohnt ihr in Berlin ? (wo)
- 2) Kommt ihr aus Japan ? (woher)
- 3) Trinkt ihr Bier ? (was)
- 4) Spielt ihr am Sonntag Tennis ? (wann)

シルビア：こんにちは、一郎。  
 私たちは喫茶店に行くの。  
 あなたはどこに行くの？  
 一郎： 家に帰るんだ。

**G1 ▶ 人称代名詞と規則的な現在人称変化（話し手と聞き手）**

人を指す人称代名詞は右図のように話し手・聞き手・その他の人に分かります。[ ] 内は複数です。

ドイツ語の動詞は語尾が -en で終わる形で辞典に掲載されています。この形の動詞を「不定詞」と言います。不定詞から -en をとったもの（語幹）に、主語に応じて次のような語尾をつけます。



主語	語尾	例	主語	語尾	例
ich 私	-e	komme	wir 私たち	-en	kommen
du 君	-st	kommst	ihr 君たち	-t	kommt

**G2 ▶ 疑問文**

ドイツ語の疑問文は人称変化した動詞を文頭に出します。

Du kommst aus München. 君はミュンヘン出身だ。  
 ← Kommst du aus München? 君はミュンヘン出身なのかい？  
 Ja, ich komme aus München. うん、ミュンヘン出身だよ。  
 Nein, ich komme aus Hamburg. いや、ハンブルク出身なんだ。

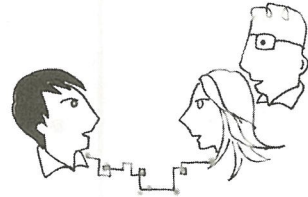
**G3 ▶ 疑問詞のある疑問文**

疑問詞は文頭に置かれます。

Kommst du aus München? 君はミュンヘン出身なのかい？  
 ← Woher kommst du? 君はどこ出身なのかい？

疑問詞： wer 誰が was 何が(を) wann いつ wo どこで wie どのように  
 wohin どこへ woher どこから warum なぜ

Sylvia : Thomas, das ist Ichiro.  
Er kommt aus Japan.  
Er studiert hier Informatik.  
Thomas : Hallo, Ichiro.



**Ü4** ▶ 例) Ich komme aus Japan. → Er kommt aus Japan.

- 1) Ich studiere Geschichte.
- 2) Ich lerne Koreanisch.
- 3) Ich gehe nach Hause.
- 4) Ich koche gern.

**Ü5** ▶ 例) Kommst du aus Osaka ? → Kommen Sie aus Osaka ?

- 1) Lernst du Englisch ?
- 2) Wohnst du hier ?
- 3) Spielst du Klavier ?
- 4) Schwimmst du gern ?

**Ü6** ▶ 例) Ich arbeite fleißig. → Er arbeitet fleißig. Arbeitest du auch fleißig ?

- 1) Ich warte lange.
- 2) Ich antworte gleich.
- 3) Ich rede viel.
- 4) Ich bade jeden Tag.

シルビア：トーマス，こちらが一郎さんよ。  
 日本出身なの。  
 ここで情報学を専攻しているの。  
 トーマス：やあ，一郎。

#### G4 ▶ 現在人称変化（第3者）

主語が話し手と聞き手以外の場合には，語幹に -t（単数）または -en（複数）をつけます。

kommen（来る）の現在人称変化

	1人（単数）			2人以上（複数）		
話し手	ich	私は	komme	wir	私たちは	kommen
聞き手	du	君は	kommst	ihr	君たちは	kommt
第3者	er	彼は	kommt	sie	彼らは	kommen
	sie	彼女は				
	es	それは				

es は Lektion 2 で勉強します。

#### G5 ▶ du と Sie

相手を指す場合，家族，親戚，親しい友人，子供などであれば du を用い，その他では Sie（常に大文字で書く）を用います。学生の間では初対面でも du を用います。du を用いる相手には名前呼びかけ，Sie を用いる相手には姓で呼びかけるのがふつうです。

Sie の動詞の形は sie（第3者複数）と同じで，相手が2人以上でも Sie です。

Thomas, *trinkst du* Tee?      トーマス，お茶を飲む？

Herr Braun, *trinken Sie* Tee?      ブラウンさん，お茶を飲みますか？

#### G6 ▶ 注意すべき現在人称変化（語幹が -t, -d など終わる動詞）

動詞の語幹が -t, -d, -gn, -chn など終わっている場合には，主語が du, er/sie/es, ihr のときに，e を入れて，それぞれの語尾をつけます。

arbeiten（働く）の現在人称変化

ich	arbeite	wir	arbeiten
du	arbeitest	ihr	arbeitet
er/sie/es	arbeitet	sie	arbeiten

Sylvia : Heute Abend haben wir eine Party.

Hast du Zeit ?

Ichiro : Ja, ich habe Zeit.

Aber ich bin etwas müde.



**Ü7** ▶ 例) Ich habe Zeit. → Er hat Zeit. Hast du auch Zeit ?

- 1) Ich habe Hunger.
- 2) Ich habe Durst.
- 3) Ich habe viel Geld.
- 4) Ich habe Arbeit.

**Ü8** ▶ 例) Ich bin müde. → Er ist müde. Bist du auch müde ?

- 1) Ich bin wieder gesund.
- 2) Ich bin schon satt.
- 3) Ich bin Student.
- 4) Ich bin morgen zu Hause.

**Ü9** ▶ 例) Wir haben heute Abend eine Party. → Heute Abend haben wir eine Party.

- 1) Er hat jeden Tag Unterricht.
- 2) Sie studiert hier.
- 3) Herr und Frau Schmidt wohnen jetzt in Kyoto.
- 4) Ich esse zu Mittag Fleisch.

シルビア：今晚私たちはパーティをするの。  
時間ある？  
一郎： うん、あるよ。  
でも、ちょっと疲れているんだ。

## G7 ▶ haben の現在人称変化

haben (…を持っている ⊕ *have*) は主語が *du* と *er/sie/es* のときに、特別な形になります。

<i>ich</i>	<i>habe</i>	<i>wir</i>	<i>haben</i>
<i>du</i>	<i>hast</i>	<i>ihr</i>	<i>habt</i>
<i>er/sie/es</i>	<i>hat</i>	<i>sie</i>	<i>haben</i>

## G8 ▶ sein の現在人称変化

sein (⊕ *be*) は「…は～である」の文で使われます。

職業、国籍等を表わす場合には名詞に不定冠詞がつきません (Lektion 2 参照)。

*Ich bin* Lehrer. 私は教師です。  
*Bist du* Japaner? 君は日本人ですか。

<i>ich</i>	<i>bin</i>	<i>wir</i>	<i>sind</i>
<i>du</i>	<i>bist</i>	<i>ihr</i>	<i>seid</i>
<i>er/sie/es</i>	<i>ist</i>	<i>sie</i>	<i>sind</i>

## G9 ▶ 語順

平叙文では、人称変化した動詞 (定動詞) は常に 2 番目に置かれます。

*Ich habe* heute Arbeit. 私は今日仕事がある。  
*Heute habe* ich Arbeit. 今日私は仕事がある。

ただし、*und* (そして)、*aber* (しかし)、*oder* (または)、*denn* (というのは) などの接続詞は語順に影響を与えません。

*Ich habe* heute Arbeit. → *Und* ich habe heute Arbeit.  
私は今日仕事がある。                      そして私は今日仕事がある。  
*Heute habe* ich Arbeit. → *Aber* heute habe ich Arbeit.  
今日私は仕事がある。                      しかし今日私は仕事がある。